



福島空港 公園づくり

かわらばん

第10号

Fukushima Airport

平成28年3月30日発行

／福島空港公園運営検討委員会事務局

福島空港公園の「参画と協働による公園づくりプラン」を策定

福島空港事務所では、多様なニーズに応えて魅力的な公園づくりを推進するため、地域住民やNPO等の皆さんとともに「参画と協働による公園づくり」の取り組みを実施しております。

平成28年2月25日に福島空港公園運営検討委員会の最後となる第6回運営検討委員会が開催され、福島空港公園の「参画と協働による公園づくりプラン」を策定しました。

「参画と協働による公園づくりプラン」は、須賀川市・玉川村にお住まいの方へのニーズ調査、「空港こみち」の整備、そして「冒険遊び場」や「福島空港公園わくわくプロジェクト」などの試

行イベントの実施・検証を踏まえ、福島空港公園の目指すべき将来像、公園の特性と利活用方針、及び参画と協働による公園づくりの推進にむけた取り組みなどについて定めた基本プランです。

本プランに基づき、次年度以降、引き続き参画と協働による公園づくりを進めていきます。

なお「参画と協働による公園づくりプラン」及び参画と協働による公園づくりを紹介したリーフレットが、福島空港事務所のホームページから閲覧できますので、ご覧下さい。



●事務局だより

平成26年度から実施してきた福島空港公園の「参画と協働による公園づくり」も、各種取り組みを踏まえ、今回、「参画と協働による公園づくりプラン」の策定となりました。

委員長、副委員長をはじめ、各委員の皆様には多大なご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成26年度から2年に渡り取り組んできましたが、地域住民やNPO等の団体への周知がまだまだ不十分で、広報活動を始めニーズの掘り起こしなど、取り組むことが多いと感じています。

これからは上記の取り組みとともに、公園づくりプランに基づき公園の利用ルールの整備を進めていきますので、「参画と協働による公園づくりプラン」の基本理念である「思いっきりつかえて、かがやく、マイパーク」の実現のため、積極的なご意見・ご要望をお待ちしています。

最後に参画と協働による公園づくりとは、福島空港公園を使って自分たちの「やりたい」を実現する取り組みです。それは福島空港公園の広大な未利用地を使ったスポーツや自然観察など活動的なものだけでなく、読書会や子育て交流会、写真撮影の研究会、水彩画や押花の創作活動など、大小さまざまなものがあると思います。そうした活動を通して交流を図るとともに、「わくわくプロジェクト」などで、自分たちの活動をちょっぴり(又は沢山でもOK!)発表していただければ、福島空港公園がマイパークになっていくと思いますので、福島空港公園でこんなことをしたい、又はもうしているけどこういうこともできるの?など疑問・要望がありましたら、気楽にご相談下さい。